

「実務経験のある教員等による授業科目」

<保育科>

授業科目名	単位数	教員名	実務経験を活かして行う授業
子ども家庭福祉	2	杉山 宗尚	児童養護施設での現場職員としての経験を活かし、子どもや家庭を取り巻く現状や課題について、わかりやすく教授していく。
人間関係の指導法	2	山中 早苗	保育士としての経験を活かし、乳児期から幼児期にかけての人間関係の発達と必要となる援助について、具体的な子どもの姿をもとに説明する。
言葉の指導法	2	厨子 直子	幼稚園現場の教員経験を生かし、幼児の言葉の発達や保育者の役割や援助を具体的に指導する。
子どもと言葉 (領域)	2	田中麻紀子	幼稚園教諭としての経験を活かし、子どもの言葉の発達や発達を促すための保育者のかかわりを具体的な事例をもとに説明する。
合計単位数	8 単位		

<専攻科>

授業科目名	単位数	教員名	実務経験を活かして行う授業
キリスト教保育特論	2	森田 喜基	キリスト教団の運営に関わり、小学校、中学校、高等学校における宗教科教諭としてキリスト教教育に携わってきた経験から、現代の教育、保育の現状において、子どもの生活を視野に入れて、キリスト教保育を行うことへの専門的、実践的な視座と意義を教授する。
子育て支援論	2	山中 早苗	保育士としての勤務経験を活かし、子育て支援において保育者がもつべき姿勢や果たす役割について指導を行う。また、他機関との連携の重要性についても解説する。
幼児と言葉	2	田中麻紀子	幼稚園教諭としての経験を活かし、保育現場において必要な知識や技術を様々な演習を通して身に付けられるように教授する。また子どもや保護者とのかかわりについても、具体的な事例を通して考えられるよう解説する。
子ども家庭福祉論	2	杉山 宗尚	児童養護施設の現場職員としての経験を活かし、社会的養護を含む子ども家庭福祉分野に関連する内容について、学生の理解を深められるように説明し、教授する。特に、学生による発表・討議の場では、学生にとって理解が難しい内容や疑問・質問に対する解説をわかりやすく行う。
合計単位数	8 単位		

科目コード	科目名	授業形態	単位数	開講時期	卒業要件	免許・資格要件	担当教員名
H1216	子ども家庭福祉	講義	2	1年次 後期	必修	保育士資格必修	杉山 宗尚・川島 直子
【実務経験】 児童養護施設での現場職員としての経験を活かし、子どもや家庭を取り巻く現状や課題について、わかりやすく教授していく。							
【授業の概要】 現代社会における子どもとその家庭を取り巻く状況は複雑になっており、様々な問題がある。そのため、この授業では、子ども家庭福祉の意義や歴史の変遷、子どもとその家庭を取り巻く様々な現状と課題等について説明する。そして、子どもの権利を保障する観点から、子どもとその家庭が抱える課題に対する制度、施策等について学んでいく。							
【キーワード】 子どもの権利、児童福祉法、子ども虐待							
【授業の到達目標（目的・ねらい）】							学位授与方針との関連
①子ども家庭福祉の諸施策について理解できる。							DP1
②子どもとその家庭を取り巻く様々な現状と課題について理解できる。							DP1
③保育者として必要な子ども家庭福祉の視点を身につけることができる。							DP4
【授業計画】							
回数	授業計画・内容・方法						
第1週	子ども家庭福祉とは何か（杉山）						
第2週	子ども家庭福祉の歴史の変遷（川島）						
第3週	児童福祉法について（川島）						
第4週	児童福祉施設について（川島）						
第5週	子ども家庭福祉の行政機関等について（杉山）						
第6週	地域子ども・子育て支援事業（杉山）						
第7週	母子保健について（杉山）						
第8週	子ども虐待①子ども虐待について（杉山）						
第9週	子ども虐待②子ども虐待の背景（杉山）						
第10週	子ども虐待③子ども虐待の定義と現状（杉山）						
第11週	ひとり親家庭の現状（杉山）						
第12週	ひとり親家庭への支援（杉山）						
第13週	ドメスティック・バイオレンス（杉山）						
第14週	非行少年等について（杉山）						
第15週	これからの子ども家庭福祉、全体の振り返り（杉山）						
回数	授業外における学修方法について（内容・時間）						
第1週	事前	シラバスを熟読し、前期科目の社会福祉概論、社会的養護Ⅰの復習をしておく。(120分)					
	事後	今回の授業内容を振り返る。(120分)					
第2週	事前	テキスト p38～p55 に目を通しておく。(120分)					
	事後	テキストやプリント等を用いて、今回の授業内容を振り返る。(120分)					
第3週	事前	テキスト p64～p71 に目を通しておく。(120分)					
	事後	テキストやプリント等を用いて、今回の授業内容を振り返る。(120分)					
第4週	事前	テキスト p94～p107 に目を通しておく。(120分)					
	事後	テキストやプリント等を用いて、今回の授業内容を振り返る。(120分)					
第5週	事前	テキスト p86～p93 に目を通しておく。(120分)					
	事後	テキストやプリント等を用いて、今回の授業内容を振り返る。(120分)					
第6週	事前	テキスト p140～p147 に目を通しておく。(120分)					
	事後	テキストやプリント等を用いて、今回の授業内容を振り返る。(120分)					
第7週	事前	テキスト p114～p117 に目を通しておく。(120分)					
	事後	テキストやプリント等を用いて、今回の授業内容を振り返る。(120分)					
第8週	事前	前半の授業について振り返っておく。(120分)					
	事後	今回の授業内容を振り返り、レポートを作成する。(120分)					
第9週	事前	前回の授業内容を振り返っておく。(120分)					
	事後	今回の授業内容を振り返り、レポートを作成する。(120分)					
第10週	事前	テキスト p72、p148 に目を通しておく。(120分)					
	事後	テキストやプリント等を用いて、今回の授業内容を振り返る。(120分)					
第11週	事前	テキスト p74、p126～p127 に目を通しておく。(120分)					
	事後	テキストやプリント等を用いて、今回の授業内容を振り返る。(120分)					
第12週	事前	テキスト p128～p131 に目を通しておく。(120分)					
	事後	テキストやプリント等を用いて、今回の授業内容を振り返る。(120分)					
第13週	事前	テキスト p76～p77、p148 に目を通しておく。(120分)					
	事後	テキストやプリント等を用いて、今回の授業内容を振り返る。(120分)					
第14週	事前	テキスト p164～p165 に目を通しておく。(120分)					
	事後	テキストやプリント等を用いて、今回の授業内容を振り返る。(120分)					
第15週	事前	これまでの授業内容を振り返っておく。(120分)					
	事後	テキストやプリント等を用いて、今回の授業内容を振り返る。(120分)					

【授業計画コメント】
 授業内容によって配布プリントをもとに授業を実施する。
 Pholly でレポートの提出を求めることがある。
 状況によって授業担当者を変更することがある。

【テキスト、参考書・参考資料等】

	著者・編集者名	書名	出版社	発行年
テキスト	直島正樹・河野清志編著	図解で学ぶ保育 子ども家庭福祉	萌文書林	2019年

参考書・参考資料等 適宜紹介する。

【成績評価の方法・基準】

評価種別	割合	基準
筆記試験	80%	各回の授業内容についての知識を問う問題で理解度を評価する。
レポート	20%	提出状況と課題テーマに対して的確に記述できているかを評価する。
小テスト		
その他		
合計	100%	

【課題（試験・レポート等）のフィードバック】
 レポートに関するフィードバックは、授業内で全体的に行う。
 質問等は随時受け付ける。

【オフィスアワー】
 火曜日のお昼休み。場所は、杉山研究室にて。

【その他】
 この科目は施設や保育所等の実習にもかかわる科目である。しっかりと福祉の心を養ってもらいたい。

科目コード	科目名	授業形態	単位数	開講時期	卒業要件	免許・資格要件	担当教員名
H1240	人間関係の指導法	演習	2	1年次 後期	選択	幼二種免必修 保育士資格必修	山中 早苗
【実務経験】 保育士としての経験を活かし、乳児期から幼児期にかけての人間関係の発達と必要となる援助について、具体的な子供の姿をもとに説明する。							
【授業の概要】 子どもと人間関係（領域）で学んだ基礎的事項をもとに、「人間関係」に示されたねらいと内容について事例を検討しながら理解を深める。乳幼児期の人間関係の発達をふまえた保育者の役割と援助を学ぶなかで、人とのかかわる力を育てるためにどのような内容と方法で活動を計画し、実践すればよいかを考える。ペアやグループ活動において多様な見方や考え方に触れ、保育者としての知識、技術を高め合う。							
【キーワード】 人間関係、発達、援助、遊び、指導計画							
【授業の到達目標（目的・ねらい）】							学位授与方針との関連
①領域「人間関係」のねらいと内容を理解し、説明することができる。							DP1, 3
②乳幼児期の人間関係の発達を理解し、その過程を説明することができる。							DP2, 3
③人とのかかわる力を育てる保育者の役割を理解し、援助や指導を考えることができる。							DP2, 4
【授業計画】							
回数	授業計画・内容・方法						
第1週	領域「人間関係」のねらいと内容						
第2週	乳児期の人間関係の発達						
第3週	乳児期に人とかかわりを育む遊びと援助〈調べ学習・ペアワーク〉						
第4週	乳児期に人とかかわりを育む遊びの発表						
第5週	保育者との信頼関係と園生活における安定感を形成する援助						
第6週	子ども同士のかかわりと自己調整力の発達						
第7週	協同性を育てる活動と援助						
第8週	幼児期に育みたい資質・能力と人間関係：幼児期・学童期のつながりと幼小連携						
第9週	人とかかわりが難しい子どもの支援						
第10週	幼児期に人とかかわりを育む遊びと援助						
第11週	人間関係を育てる遊びに関する教材研究〈ICTを用いた調査学習〉						
第12週	人間関係を育てる遊びの指導計画						
第13週	人間関係を育てる遊びの実践と評価〈グループワーク〉						
第14週	保護者との関係づくりと子育て支援―保育中でのICTの活用と家庭との連携―						
第15週	乳幼児期の人間関係の発達と保育者の役割・まとめ						
回数	授業外における学修方法について（内容・時間）						
第1週	事前	シラバスを読み、幼稚園教育要領の第2章「人間関係」に目を通しておく。（30分）					
	事後	配布資料をもとに、授業内容を振り返る。（60分）					
第2週	事前	乳児の絵本の魅力や特徴を考える。（30分）					
	事後	配布資料をもとに、授業内容を振り返る。（60分）					
第3週	事前	乳児の人間関係を育む遊びを調べる。（60分）					
	事後	調べた遊びについて、ワークシートに記す。（30分）					
第4週	事前	調べた遊びの発表準備をする。（30分）					
	事後	発表での学びをワークシートに記す。（60分）					
第5週	事前	テキスト第7章（pp.73-77）を読んでおく。（30分）					
	事後	配布資料をもとに、授業内容を振り返る。（60分）					
第6週	事前	テキスト第8章を読んでおく。（30分）					
	事後	配布資料をもとに、授業内容を振り返る。（60分）					
第7週	事前	テキスト第9章を読んでおく。（30分）					
	事後	配布資料をもとに、授業内容を振り返る。（60分）					
第8週	事前	幼稚園教育要領の「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」に目を通す。（30分）					
	事後	配布資料をもとに、授業内容を振り返る。（60分）					
第9週	事前	テキスト第10章を読んでおく。（30分）					
	事後	配布資料をもとに、授業内容を振り返る。（60分）					
第10週	事前	テキスト第15章を読んでおく。（30分）					
	事後	配布資料をもとに、授業内容を振り返る。（60分）					
第11週	事前	幼児の人間関係を育む遊びを調べる。（30分）					
	事後	調べた遊びについて指導計画を記す。（60分）					
第12週	事前	調べた遊びの進め方や援助のポイントをまとめる。（30分）					
	事後	指導計画の改善を行う。（60分）					
第13週	事前	模擬保育に必要な準備をする。（30分）					
	事後	模擬保育の振り返りをワークシートに記す。（60分）					
第14週	事前	テキスト第11章を読んでおく。（30分）					
	事後	配布資料をもとに、授業内容を振り返る。（60分）					
第15週	事前	第1回から14回までの授業配布資料を見直す。（30分）					
	事後	テキストと配布資料をもとに全授業内容を振り返る。（60分）					

【授業計画コメント】
遠隔授業の際、Pholly を用いることがある。また、Pholly への課題提出を求める場合がある。

【テキスト、参考書・参考資料等】				
	著者・編集者名	書名	出版社	発行年
テキスト	田代和美・榎本眞実（編著）	保育内容人間関係：基礎的事項の理解と指導法	建帛社	2019年
テキスト	文部科学省	「幼稚園教育要領」	フレーベル館	2017年
テキスト	厚生労働省	「保育所保育指針」	フレーベル館	2017年
テキスト	内閣府	「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」	フレーベル館	2017年
参考書等	文部科学省	「幼稚園教育要領解説」	フレーベル館	2018年
参考書等	厚生労働省	「保育所保育指針解説」	フレーベル館	2018年
参考書等	内閣府	「幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説」	フレーベル館	2018年

【成績評価の方法・基準】		
評価種別	割合	基準
筆記試験	70%	講義内容の基礎的事項と応用問題で評価する。
期末レポート		
小テストおよび課題への取り組み	30%	小テストおよび課題は授業内容の理解度を測るものであり、授業到達目標にそった知識の定着度を確認する。
その他		
合計	100%	

【課題（試験・レポート等）のフィードバック】
小テストや提出された課題の内容を確認し、授業の中で必要な解説を行う。

【オフィスアワー】
水曜日のお昼休み。場所は、山中研究室にて。

【その他】
特になし。

科目コード	科目名	授業形態	単位数	開講時期	卒業要件	免許・資格要件	担当教員名
H1242	言葉の指導法	演習	2	1年次 後期	選択	幼二種免必修 保育士資格必修	厨子 直子
【実務経験】 幼稚園現場の教員経験を活かし、幼児の言葉の発達や保育者の役割や援助を具体的に指導する。							
【授業の概要】 領域「言葉」のねらい・内容を踏まえ、乳幼児期の言葉の育ちへの理解を深めながら、子どもが豊かな言葉や表現を身につけ、想像する楽しさを広げるために必要な基礎的知識を学ぶ。さらに言葉や社会性の成長を支える保育者等の果たす役割について考える。また、乳幼児の言葉に対する感覚を豊かにする遊びや教材などについて実践し、意義や価値を理解し、保育を構想する方法や実践技術を身に付ける。							
【キーワード】 領域「言葉」、発達、児童文化財、保育計画、援助							
【授業の到達目標（目的・ねらい）】							学位授与方針との関連
①領域「言葉」のねらい・内容を理解し、説明することができる。							DP1, 2
②乳幼児期の発達や学びを理解し、領域「言葉」に関わる保育を構想する力を身に付けることができる。							DP2, 3
③子どもの豊かな言葉を育む活動や遊びを実践し、指導の在り方を考えることができる。							DP2, 3
【授業計画】							
回数	授業計画・内容・方法						
第1週	オリエンテーション・言葉が育つ環境						
第2週	言葉を育む視聴覚教材について学ぶ—エブロンシアター・パネルシアター—						
第3週	視聴覚教材を制作する①構想・制作						
第4週	視聴覚教材を制作する②制作・工夫						
第5週	集団遊びの保育への活用<グループワーク>						
第6週	視聴覚教材を用いた計画と発表<グループワーク>						
第7週	3・4歳児の言葉や内面を理解する（わらべうた 絵本読み聞かせ 散歩）<フィールドワーク>						
第8週	4・5歳児の言葉や内面を理解する（わらべうた 絵本読み聞かせ 散歩）<フィールドワーク>						
第9週	自作の視聴覚教材を用いた保育実践<フィールドワーク>						
第10週	視聴覚教材の保育への活用—実践の省察より—						
第11週	児童文化財を活用した保育の実践—教材研究と指導案の作成—						
第12週	児童文化財を活用した保育の構想—指導案の検討と改良—						
第13週	言葉を豊かにする保育の実践①—お話作りと紙芝居・ICT—						
第14週	言葉を豊かにする保育の実践②—言葉による伝え合いを考える—						
第15週	まとめ・子どもの言葉を育み、豊かにする保育実践						
回数	授業外における学修方法について（内容・時間）						
第1週	事前	「言葉の指導法」のシラバスをあらかじめ読んでおく。(30分)					
	事後	授業内容を振り返り、まとめる。(60分)					
第2週	事前	テキストの該当の箇所を読んでおく。(30分)					
	事後	視聴覚教材の作成方法を整理し、参考資料を探す。(60分)					
第3週	事前	視聴覚教材の題材を調べ、レポートを書く。(60分)					
	事後	対象幼児を想像しながら制作準備をする。(60分)					
第4週	事前	視聴覚教材の準備および制作をする。(60分)					
	事後	視聴覚教材の制作をすすめる。(60分)					
第5週	事前	工夫しながら視聴覚教材の制作をすすめる。(60分)					
	事後	授業で実践した集団遊びを復習する。(30分)					
第6週	事前	視聴覚教材の台本を作成し練習する。(60分)					
	事後	授業を振り返り、演じる練習をする。(60分)					
第7週	事前	わらべうたや絵本を選択し、実践できるようにする。(30分)					
	事後	フィールドワークを振り返り、レポートを仕上げる。(30分)					
第8週	事前	年齢に合ったわらべうたや絵本などを選択し、実践できるようにする。(30分)					
	事後	フィールドワークを振り返り、レポートを仕上げる。(30分)					
第9週	事前	視聴覚教材の演じ方を確認し、練習する。(30分)					
	事後	フィールドワークを振り返り、レポートを仕上げる。(30分)					
第10週	事前	振り返りレポートを読み直す。(30分)					
	事後	授業内容を振り返り、保育への活用を考える。(30分)					
第11週	事前	指導案に使用する教材について研究する。(60分)					
	事後	授業を振り返り、指導案を完成させる。(30分)					
第12週	事前	完成させた指導案を自分なりに見直す。(30分)					
	事後	授業を振り返り、指導案の書き方への理解を深める。(30分)					
第13週	事前	テキストの該当の箇所を読んでおく。(30分)					
	事後	授業を振り返り、演じ方について実践に活かせるよう復習する。(30分)					
第14週	事前	言葉遊びについて教材研究をする。(60分)					
	事後	授業を振り返り、援助について復習する。(30分)					
第15週	事前	授業や実習等を振り返り、省察を深めておく。(60分)					
	事後	授業を振り返り、整理してまとめる。(30分)					

【授業計画コメント】
遠隔でする際、Pholly を用いる場合がある。また、Pholly への授業内レポートの提出を求めることがある。

【テキスト、参考書・参考資料等】

	著者・編集者名	書名	出版社	発行年
テキスト	岸井勇雄 無藤隆 湯川秀樹監修 太田光洋編著	保育内容 言葉	同文書院	2018年
参考書等	文部科学省	『幼稚園教育要領』	フレーベル館	2017年
参考書等	文部科学省	『幼稚園教育要領解説』	フレーベル館	2018年
参考書等	厚生労働省	『保育所保育指針』	フレーベル館	2017年
参考書等	厚生労働省	『保育所保育指針解説』	フレーベル館	2018年
参考書等	内閣府	『幼保連携型認定こども園教育・保育要領』	フレーベル館	2017年
参考書等	内閣府	『幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説』	フレーベル館	2018年

【成績評価の方法・基準】

評価種別	割合	基準
筆記試験		
期末レポート	50%	課題に対する適切な内容・記述になっているかで評価する
小テスト・授業内レポート	20%	提出状況と課題に対する記述内容で評価する
授業内課題・発表	30%	準備や授業に取り組む意欲や態度を評価する
合計	100%	

【課題（試験・レポート等）のフィードバック】
提出されたレポート課題については授業内でフィードバックする。

【オフィスアワー】
水曜日のお昼休み。場所は、厨子研究室にて。

【その他】
幼稚園の行事等で授業計画を変更することがあるので、柔軟に対応すること。
幼稚園児との交流を通して子どもの姿に触れ子ども理解を深める。また、子ども目線での実技やグループワークを大切にすること。

科目コード	科目名	授業形態	単位数	開講時期	卒業要件	免許・資格要件	担当教員名
H1236	子どもと言葉（領域）	演習	2	1年次 前期	選択	幼二種免選択 保育士資格必修	田中 麻紀子
【実務経験】 幼稚園教諭としての経験を活かし、子どもの言葉の発達や発達を促すための保育者のかかわりを具体的な事例をもとに説明する。							
【授業の概要】 乳幼児の言葉の発達過程と、保育者の援助の実例を事例や参考資料を通して学ぶ。またグループワークでは、保育現場で実際に起こりうる事例に対しての援助の方法を考え、その背景にある保育者の思いや考えについてのイメージが持てるようにする。手遊び、わらべ歌、絵本読み聞かせの実践を行い、実習や保育現場で活かせるよう身に付ける。							
【キーワード】 領域・言葉、保育者のかかわり、絵本、手遊び、わらべうた							
【授業の到達目標（目的・ねらい）】							学位授与方針との関連
①乳幼児の言葉の発達過程を理解し、説明できる。							DP2
②領域「言葉」のねらいと内容をふまえ、乳幼児期に言葉の発達を促すための保育者の援助と指導を考え実践することができる。							DP2
③言葉遊びなど言葉の感覚を豊かにする基礎的な知識を身に付け活用できる。							DP1
④児童文化財（絵本・物語・紙芝居等）の基礎的な知識を身に付け活用することができる。							DP2
【授業計画】							
回数	授業計画・内容・方法						
第1週	オリエンテーション・自己紹介を考える						
第2週	領域「言葉」のねらいと内容						
第3週	言葉をめぐるワークショップ（乳幼児の立場にたって考える）						
第4週	言葉の育つ道筋—ことばはどのように育つのか—						
第5週	言葉の育つ道筋—子どものことばと保育者—						
第6週	言葉の育つ道筋—特別な配慮が必要な子どもとのかかわり—						
第7週	人とつながる言葉（信頼関係から生み出される言葉—保育現場での事例を通して考える—）						
第8週	絵本読み聞かせ（教材研究）						
第9週	年齢に応じた絵本探し						
第10週	絵本読み聞かせ（実践・第1グループ）—子どもの好きな絵本を考える—						
第11週	絵本読み聞かせ（実践・第2グループ）—自分の好きな絵本を読む—						
第12週	絵本読み聞かせ（実践・第3グループ）—基本的な絵本の読み方を身に付ける—						
第13週	言葉を育む文化財・遊び（手遊び・わらべ歌の保育への取り入れ方）—単焦点プロジェクター等の情報機器の活用—						
第14週	わらべ歌実践発表						
第15週	手遊び実践発表						
回数	授業外における学修方法について（内容・時間）						
第1週	事前	シラバスを熟読し、今後の授業について自分なりの見通しを持つ。（0.5時間）					
	事後	今後の授業について、見通しを立てる。（0.5時間）					
第2週	事前	「保育所保育指針」「幼稚園教育要領」「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」の言葉の領域を熟読する。（0.5時間）					
	事後	授業内容を振り返り、理解を深める。（0.5時間）					
第3週	事前	普段自分が発している言葉について考える。（0.5時間）					
	事後	周りの人の言葉に耳を傾け、自分の言葉について考える。（0.5時間）					
第4週	事前	近くにいる子どもや通りがかりの子どもなど、子どもの言葉や声に耳を傾ける。（0.5時間）					
	事後	授業内容を振り返り、理解を深める。（0.5時間）					
第5週	事前	教科書の該当ページを一通り読んでおく。（0.5時間）					
	事後	自分の言葉がどのような影響を与えているかを考える。（0.5時間）					
第6週	事前	教科書の該当ページを一通り読んでおく。（0.5時間）					
	事後	授業内容を振り返り、理解を深める。（0.5時間）					
第7週	事前	友だちや家族との会話や自分の発言を改めて振り返る。（0.5時間）					
	事後	自分の言葉がどのような影響を与えているかを考える。（0.5時間）					
第8週	事前	自分が発表したいと思う絵本を探す。（0.5時間）					
	事後	絵本の読み聞かせの仕方を振り返り、身に付けられるようにする。（0.5時間）					
第9週	事前	各年齢の子どもにどのような絵本が望ましいかを自分なりに考える。（0.5時間）					
	事後	授業内で探した絵本の他にもどのような絵本が望ましいか、見つける。（0.5時間）					
第10週	事前	読み聞かせの練習を行う。（1.0時間）					
	事後	反省点を踏まえて、改めて読み聞かせの練習をする。（0.5時間）					
第11週	事前	読み聞かせの練習を行う。（1.0時間）					
	事後	反省点を踏まえて、改めて読み聞かせの練習をする。（0.5時間）					
第12週	事前	読み聞かせの練習を行う。（1.0時間）					
	事後	反省点を踏まえて、改めて読み聞かせの練習をする。（0.5時間）					
第13週	事前	手遊び、わらべうたについて自分なりに調べる。（0.5時間）					
	事後	授業内で行った手遊びやわらべうたをおさらいし、自分のものにする。（1.0時間）					
第14週	事前	子どもと楽しめると思うわらべうたを見つけ、自分のものにしてできるよう練習し発表の準備をする。（1.0時間）					
	事後	授業内で行ったわらべうたをおさらいし、自分のものにする。（1.0時間）					
第15週	事前	これは誰も知らないと思う手遊びを探し、自分のものにしてできるよう練習し発表の準備をする。（1.0時間）					
	事後	授業内で行った手遊びをおさらいし、自分のものにし実習で使えるようにする。（1.0時間）					

<p>【授業計画コメント】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループワークや実践発表など積極的に参加すること。 ・受講者の理解度によって授業内容を変更することがあります。 ・遠隔授業の際、Pholly を用いることがあります。 ・必要に応じて Pholly を通じて資料を提示します。 																													
<p>【テキスト、参考書・参考資料等】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>著者・編集者名</th> <th>書名</th> <th>出版社</th> <th>発行年</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>テキスト</td> <td>太田光洋</td> <td>保育・教育ネオシリーズ 保育内容・言葉</td> <td>同文書院</td> <td>2018年</td> </tr> <tr> <td>参考書等</td> <td>文部科学省</td> <td>『幼稚園教育要領』</td> <td>フレーベル館</td> <td>2017年</td> </tr> <tr> <td>参考書等</td> <td>厚生労働省</td> <td>『保育所保育指針』</td> <td>フレーベル館</td> <td>2017年</td> </tr> <tr> <td>参考書等</td> <td>内閣府</td> <td>『幼保連携型認定こども園教育・保育要領』</td> <td>フレーベル館</td> <td>2017年</td> </tr> </tbody> </table>						著者・編集者名	書名	出版社	発行年	テキスト	太田光洋	保育・教育ネオシリーズ 保育内容・言葉	同文書院	2018年	参考書等	文部科学省	『幼稚園教育要領』	フレーベル館	2017年	参考書等	厚生労働省	『保育所保育指針』	フレーベル館	2017年	参考書等	内閣府	『幼保連携型認定こども園教育・保育要領』	フレーベル館	2017年
	著者・編集者名	書名	出版社	発行年																									
テキスト	太田光洋	保育・教育ネオシリーズ 保育内容・言葉	同文書院	2018年																									
参考書等	文部科学省	『幼稚園教育要領』	フレーベル館	2017年																									
参考書等	厚生労働省	『保育所保育指針』	フレーベル館	2017年																									
参考書等	内閣府	『幼保連携型認定こども園教育・保育要領』	フレーベル館	2017年																									
<p>【成績評価の方法・基準】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>評価種別</th> <th>割合</th> <th>基準</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>筆記試験</td> <td>50%</td> <td>講義内容を理解した上で、設問に対して的確に解答しているかを評価する。</td> </tr> <tr> <td>期末レポート</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>小テスト・授業内レポート</td> <td>10%</td> <td>講義内容を理解し、課題に対する適切な内容・記述になっているかについて評価する。</td> </tr> <tr> <td>授業への参加度</td> <td>40%</td> <td>グループワーク、実践発表（絵本読み聞かせ、わらべうた、手遊び）など。</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>100%</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>					評価種別	割合	基準	筆記試験	50%	講義内容を理解した上で、設問に対して的確に解答しているかを評価する。	期末レポート			小テスト・授業内レポート	10%	講義内容を理解し、課題に対する適切な内容・記述になっているかについて評価する。	授業への参加度	40%	グループワーク、実践発表（絵本読み聞かせ、わらべうた、手遊び）など。	合計	100%								
評価種別	割合	基準																											
筆記試験	50%	講義内容を理解した上で、設問に対して的確に解答しているかを評価する。																											
期末レポート																													
小テスト・授業内レポート	10%	講義内容を理解し、課題に対する適切な内容・記述になっているかについて評価する。																											
授業への参加度	40%	グループワーク、実践発表（絵本読み聞かせ、わらべうた、手遊び）など。																											
合計	100%																												
<p>【課題（試験・レポート等）のフィードバック】</p> <p>課題、実践発表については、授業内で全体にコメントする。</p>																													
<p>【オフィスアワー】</p> <p>火曜日のお昼休み。場所は、田中研究室にて。</p>																													
<p>【その他】</p> <p>特になし</p>																													

科目コード	科目名	授業形態	単位数	開講時期	卒業要件	免許・資格要件	担当教員名
S1301	キリスト教保育特論	講義	2	1年次 前期	必修		森田 喜基
【実務経験】キリスト教団の運営に関わり、小学校、中学校、高等学校における宗教科教諭としてキリスト教教育に携わってきた経験から、現代の教育、保育の現状において、子どもの生活を視野に入れて、キリスト教保育を行うことへの専門的、実践的な視座と意義を教授する。							
【授業の概要】キリスト教の行事や幼児礼拝について、聖書に基づいた理解を深め、実際の保育現場において生かせる学びをする。現場においてどのようなキリスト教保育が展開されているかも学び、各自が幼児礼拝やキリスト教視覚教材を創っていく作業にも取り組む。							
【キーワード】キリスト教、キリスト教保育、聖書							
【授業の到達目標（目的・ねらい）】							学位授与方針との関連
① 顕栄短期大学の建学の精神であるキリスト教に対する主体的な学びを深め、キリスト教保育とは何かについて説明することが出来る。							DP1
② 幼児礼拝やキリスト教行事に対する理解を深め、実際の保育現場で活かす事が出来る。							DP2
【授業計画】							
回数	授業計画・内容・方法						
第1週	オリエンテーション 保育現場におけるキリスト教行事の展開 (1) イースター						
第2週	キリスト教保育とは (1) 「愛」をキーワードに〈プレゼンテーション〉						
第3週	キリスト教保育とは (2) 「希望」をキーワードに〈プレゼンテーション〉						
第4週	キリスト教保育とは (3) 「信じること」をキーワードに〈プレゼンテーション〉						
第5週	キリスト教保育とは (4) 「委ねる」をキーワードに〈プレゼンテーション〉						
第6週	キリスト教保育と聖書 (1) 創世記						
第7週	保育現場におけるキリスト教行事の展開 (2) ペンテコステ						
第8週	キリスト教保育と聖書 (2) ヨナ書						
第9週	キリスト教保育と聖書 (3) 新約聖書						
第10週	保育現場におけるキリスト教行事の展開 (3) クリスマス						
第11週	子どもと共に聖書物語を親しむために (1) お話の準備						
第12週	子どもと共に聖書物語を親しむために (2) お話の展開						
第13週	キリスト教保育視覚教材を創る (1) 図書館にて						
第14週	キリスト教保育視覚教材を創る (2) 制作						
第15週	キリスト教保育視覚教材を創る (3) 発表						
回数	授業外における学修方法について (内容・時間)						
第1週	事前	シラバスを事前に読み、自分なりの興味や関心を整理しておく					
	事後	学んだ内容から、保育者となる上で、大事だと思うことをまとめておくこと (所要時間 90 分程度)					
第2週	事前	指示されたテキストの箇所を読み、内容を理解し、簡単に説明ができるようにしておくこと (所要時間 90 分程度)					
	事後	学んだ内容から、保育者となる上で、大事だと思うことをまとめておくこと (所要時間 90 分程度)					
第3週	事前	指示されたテキストの箇所を読み、内容を理解し、簡単に説明ができるようにしておくこと (所要時間 90 分程度)					
	事後	学んだ内容から、保育者となる上で、大事だと思うことをまとめておくこと (所要時間 90 分程度)					
第4週	事前	指示されたテキストの箇所を読み、内容を理解し、簡単に説明ができるようにしておくこと (所要時間 90 分程度)					
	事後	学んだ内容から、保育者となる上で、大事だと思うことをまとめておくこと (所要時間 90 分程度)					
第5週	事前	指示されたテキストの箇所を読み、内容を理解し、簡単に説明ができるようにしておくこと (所要時間 90 分程度)					
	事後	学んだ内容から、保育者となる上で、大事だと思うことをまとめておくこと (所要時間 90 分程度)					
第6週	事前	指示されたテキストの箇所を読み、内容を理解し、簡単に説明ができるようにしておくこと (所要時間 90 分程度)					
	事後	学んだ内容から、保育者となる上で、大事だと思うことをまとめておくこと (所要時間 90 分程度)					
第7週	事前	指示されたテキストの箇所を読み、内容を理解し、簡単に説明ができるようにしておくこと (所要時間 90 分程度)					
	事後	学んだ内容から、保育者となる上で、大事だと思うことをまとめておくこと (所要時間 90 分程度)					
第8週	事前	指示されたテキストの箇所を読み、内容を理解し、簡単に説明ができるようにしておくこと (所要時間 90 分程度)					
	事後	学んだ内容から、保育者となる上で、大事だと思うことをまとめておくこと (所要時間 90 分程度)					
第9週	事前	指示されたテキストの箇所を読み、内容を理解し、簡単に説明ができるようにしておくこと (所要時間 90 分程度)					
	事後	学んだ内容から、保育者となる上で、大事だと思うことをまとめておくこと (所要時間 90 分程度)					
第10週	事前	指示されたテキストの箇所を読み、内容を理解し、簡単に説明ができるようにしておくこと (所要時間 90 分程度)					
	事後	学んだ内容から、保育者となる上で、大事だと思うことをまとめておくこと (所要時間 90 分程度)					
第11週	事前	指示されたテキストの箇所を読み、内容を理解し、簡単に説明ができるようにしておくこと (所要時間 90 分程度)					
	事後	学んだ内容から、保育者となる上で、大事だと思うことをまとめておくこと (所要時間 90 分程度)					
第12週	事前	指示されたテキストの箇所を読み、内容を理解し、簡単に説明ができるようにしておくこと (所要時間 90 分程度)					
	事後	学んだ内容から、保育者となる上で、大事だと思うことをまとめておくこと (所要時間 90 分程度)					
第13週	事前	指示されたテキストの箇所を読み、内容を理解し、簡単に説明ができるようにしておくこと (所要時間 90 分程度)					
	事後	キリスト教保育視覚教材作成に取り組み、発表準備をしておくこと (所要時間 90 分程度)					
第14週	事前	キリスト教保育視覚教材作成に取り組み、発表準備をしておくこと (所要時間 90 分程度)					
	事後	キリスト教保育視覚教材作成に取り組み、発表準備をしておくこと (所要時間 90 分程度)					
第15週	事前	キリスト教保育視覚教材作成に取り組み、発表準備をしておくこと (所要時間 90 分程度)					
	事後	本科目を通して学んだ内容をまとめ、期末レポートの準備をすること (所要時間 90 分程度)					

【授業計画コメント】
 受講生の理解度に応じて、授業計画を変更することがある
 Pholly で授業内レポートの提出を求めることがある
 Pholly で提出されたものは、Pholly 上でフィードバックする

【テキスト、参考書・参考資料等】

	著者・編集者名	書名	出版社	発行年
テキスト	日本聖書協会	『聖書 新共同訳』	日本聖書協会	
テキスト		『ともに育つ保育 入門』	キリスト教保育連盟	2018年
参考書等	日本基督教団出版局	『讃美歌21』	日本基督教団出版局	

【成績評価の方法・基準】

評価種別	割合	基準	
筆記試験			
期末レポート	60%	授業で取り扱った内容に対する理解度で評価する。	
小テスト・授業内レポート			
その他	発表・受講態度	40%	授業での発表（20%）、コメントシート（10%）やグループ討議への参加状況（10%）により評価する。
合計		100%	

【課題（試験・レポート等）のフィードバック】
 Pholly 上でフィードバックする。

【オフィスアワー】
 授業の前後、教室にて質問を受け付ける。

【その他】
 特になし。

科目コード	科目名	授業形態	単位数	開講時期	卒業要件	免許・資格要件	担当教員名
S1409	子育て支援論	演習	2	1年次 後期	選択		山中 早苗
【実務経験】保育士としての勤務経験を活かし、子育て支援において保育者がつべき姿勢や果たす役割について指導を行う。また、他機関との連携の重要性についても解説する。							
【授業の概要】 今日の社会において子育て支援が必要となる背景を理解し、政府による施策および子育て支援活動の実際を学ぶ。保育者として子育て支援を行うにあたっての実践的な力を高めるため、地域における子育て支援活動に参加し、保護者や子ども達と実際にかかわる機会をもつ。そのなかで、地域のさまざまな機関と連携して子育て支援を行うことの意義を考察する。							
【キーワード】 子育て支援、保護者、地域、実践							
【授業の到達目標（目的・ねらい）】							学位授与方針との関連
①子育て中の家族を取り巻く社会状況を理解し、どのような子育て施策が進められているかを述べることができる。							DP1, 2
②子育て支援の実際について、どのような主体、場、活動内容があるのかを具体的に説明することができる。							DP2
③保育者が子育て支援を行うことの意義および役割を理解し、具体的な支援方法を考えることができる。							DP2, 3, 4
【授業計画】							
回数	授業計画・内容・方法						
第1週	子育て支援とはなにか						
第2週	女性の社会進出と子育て支援						
第3週	父親の育児参加						
第4週	子育て支援施策の動向						
第5週	保育所・幼稚園における子育て支援						
第6週	子育て支援に必要な技術と姿勢						
第7週	乳児と保護者を対象にした子育て支援活動〈フィールドワーク〉						
第8週	子育て支援にふさわしい環境						
第9週	地域における子育て支援活動①—実践計画の作成—〈グループワーク〉						
第10週	地域における子育て支援活動②—実践に向けた準備—〈グループワーク〉						
第11週	地域における子育て支援活動③—実践内容の発表—〈グループワーク〉						
第12週	地域の子育て支援現場への訪問〈フィールドワーク〉						
第13週	地域の子育て支援現場での実践〈フィールドワーク〉						
第14週	外国につながりをもつ家庭への子育て支援						
第15週	全体のまとめと振り返り						
回数	授業外における学修方法について（内容・時間）						
第1週	事前	シラバスを読み、授業の概要を把握する。(30分)					
	事後	子育て支援が求められる背景について資料を読む。(60分)					
第2週	事前	子育て支援が求められる背景をまとめる。(30分)					
	事後	女性の社会進出と子育て支援についてまとめる。(60分)					
第3週	事前	父親の育児参加状況を調べる。(30分)					
	事後	父親の育児参加を促進する方策をまとめる。(60分)					
第4週	事前	日本における子育て支援施策を調べる。(30分)					
	事後	子育て支援施策についてまとめる。(60分)					
第5週	事前	保育所、幼稚園における子育て支援の取り組みを調べる。(30分)					
	事後	子育て支援にかかわる保育者の専門性をまとめる。(60分)					
第6週	事前	地域子育て支援活動のなかで学びたいことを考える。(30分)					
	事後	子育て支援に求められる技術と姿勢をまとめる。(60分)					
第7週	事前	地域子育て支援活動への参入に向けた準備をする。(30分)					
	事後	地域子育て支援活動に参入して学んだことをレポートにまとめる。(60分)					
第8週	事前	地域子育て支援の場で観察した環境をまとめる。(30分)					
	事後	子育て支援に必要な環境を考察する。(60分)					
第9週	事前	地域子育て支援の場で実践したい活動を考える。(30分)					
	事後	実践したい活動について指導計画を作成する。(60分)					
第10週	事前	作成した指導計画にそって準備を行う。(30分)					
	事後	作成した指導計画を改善する。(60分)					
第11週	事前	実践内容の発表に向けた準備をする。(30分)					
	事後	実践内容の発表について振り返りを行う。(60分)					
第12週	事前	地域子育て支援活動での実践に向けて自己課題を明確にする。(30分)					
	事後	地域子育て支援活動での親子とのかかわりを振り返る。(60分)					
第13週	事前	親子のかかわりをふまえて実践に向けて準備をする。(30分)					
	事後	地域子育て支援活動での実践を通した学びをレポートにまとめる。(60分)					
第14週	事前	外国につながりを持つ子どもと家庭について調べる。(30分)					
	事後	他機関との連携や個別支援についてまとめる。(60分)					
第15週	事前	第1回から14回までの授業配布資料を見直し、取り組んだ内容を振り返る。(30分)					
	事後	全授業内容を振り返り、子育て支援における保育者の役割と責務について考える。(60分)					

【授業計画コメント】
 子育て支援現場への見学等の日程により、授業の順番が変更になる場合がある。
 遠隔授業の際、Pholly を用いることがある。また、Pholly への課題提出を求めることがある。

【テキスト、参考書・参考資料等】

	著者・編集者名	書名	出版社	発行年
テキスト	文部科学省	『幼稚園教育要領』	フレーベル館	2017年
テキスト	厚生労働省	『保育所保育指針』	フレーベル館	2017年
テキスト	内閣府	『幼保連携型認定こども園教育・保育要領』	フレーベル館	2017年
参考書等	文部科学省	『幼稚園教育要領解説』	フレーベル館	2018年
参考書等	厚生労働省	『保育所保育指針解説』	フレーベル館	2018年
参考書等	内閣府	『幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説』	フレーベル館	2018年

【成績評価の方法・基準】

評価種別	割合	基準
筆記試験		
期末レポート	50%	課題にそって調べ、授業内容をふまえて問題意識をもって考察を行っているかを評価する。
発表および実践	30%	地域子育て支援現場における活動の計画、実践、実践後の振り返りを役割や課題にそって適切に行っているかを評価する。
授業への参加意欲・態度	20%	話し合いや実践準備、現場参入の際の参加状況を評価する。
合計	100%	

【課題（試験・レポート等）のフィードバック】
 提出された課題に対して、授業内で必要な解説を行う。

【オフィスアワー】
 水曜日のお昼休み。場所は、山中研究室にて。

【その他】
 ・日頃からニュース等の子育て情報に関心をもち、授業に臨むこと。
 ・話し合いやグループ活動に積極的に参加することが求められる。
 ・子育て支援現場への参入と実践に関する振り返りレポートの作成は、期限を守って行うこと。

科目コード	科目名	授業形態	単位数	開講時期	卒業要件	免許・資格要件	担当教員名
S1412	幼児と言葉	講義	2	1年次 後期	選択	幼一種免選択	田中 麻紀子
【実務経験】 幼稚園教諭としての経験を活かし、保育現場において必要な知識や技術を様々な演習を通して身に付けられるように教授する。また子どもや保護者とのかかわりについても、具体的な事例を通して考えられるよう解説する。							
【授業の概要】 全員がストーリーテリングの実践を行い、実践についての振り返りを行う。またクラスだよりやドキュメンテーションの作成を行う。言葉遊びや文字を取り入れた遊びを考え、模擬保育を行う等、保育現場においてすぐに応用できるよう、演習を中心に進める。							
【キーワード】 領域「言葉」、言葉の発達、保育者のかかわり、ストーリーテリング							
【授業の到達目標（目的・ねらい）】							学位授与方針との関連
①幼稚園教育要領に示された幼稚園教育の基本を踏まえ、幼児期の領域「言葉」のねらい及び内容を理解できる。							DP2
②幼児の言葉の発達や学びの過程を理解し、具体的に保育者が幼児とどのようにかかわっていくのかを想定し、保育を構想する方法を身に付ける。							DP2
③幼児の話す・聞く態度を養うために必要な経験を学び、理解を深めることができる。							DP3
④実践を通して領域「言葉」の理解を深め、保育現場で活かせる「言葉」を身に付け活用することができる。							DP3
【授業計画】							
回数	授業計画・内容・方法						
第1週	オリエンテーション・保育科「言葉」の振り返り						
第2週	幼稚園教育要領・保育所保育指針・幼保連携型認定こども園教育・保育要領における領域「言葉」						
第3週	言葉でのかかわりに配慮を必要とする子どもへの支援						
第4週	ごっこ遊びと劇遊び（劇遊び脚本づくり）—単焦点プロジェクター等の情報機器の活用—						
第5週	ストーリーテリング（教材研究）						
第6週	ストーリーテリング（実践）						
第7週	クラスだよりの作成（ねらいと留意点・作成）—PC等の情報機器の利用を含む—						
第8週	ドキュメンテーション（ねらいと留意点・作成）						
第9週	言葉遊びを考える（指導案作成）						
第10週	言葉遊びを考える（模擬保育第1グループ・振り返り）—遊びを通した言葉—						
第11週	言葉遊びを考える（模擬保育第2グループ・振り返り）—文字や数字への興味・関心—						
第12週	言葉遊びを考える（模擬保育第3グループ・振り返り）—生活の中から自然に取り入れる—						
第13週	言葉遊びを考える（模擬保育第4グループ・振り返り）—友だちの刺激を受けて—						
第14週	言葉遊びを考える（模擬保育第5グループ・振り返り）—無理なく取り入れるために—						
第15週	まとめ・振り返り						
回数	授業外における学修方法について（内容・時間）						
第1週	事前	領域「言葉」での授業内容を振り返る（0.5時間）					
	事後	授業を受けたうえで改めて「幼稚園教育要領」「保育所保育指針」「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」を読み、理解を深める。（1.0時間）					
第2週	事前	「幼稚園教育要領」「保育所保育指針」「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」を読む。（0.5時間）					
	事後	授業を受けたうえで改めて「幼稚園教育要領」「保育所保育指針」「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」を読み、理解を深める。（1.0時間）					
第3週	事前	これまでに出会った言葉でのかかわりに配慮が必要な子どもについて考える。（0.5時間）					
	事後	自分ならどのような配慮をしたり、かかわりの工夫をしたりすることができるのかを考える。（0.5時間）					
第4週	事前	園ではどのようなごっこ遊びや劇遊びが行われているのかを調べておく。（0.5時間）					
	事後	自分がごっこ遊びや劇遊びをするならどのように行うかを考え、まとめる。（1.0時間）					
第5週	事前	ストーリーテリングをしたいと思うお話を見つけておく。（0.5時間）					
	事後	授業内容を踏まえ、ストーリーテリング発表の準備をする。（1.0時間）					
第6週	事前	ストーリーテリングを発表できるよう、十分に練習する。（1.0時間）					
	事後	反省点を踏まえ、改めてストーリーテリングを練習する。（0.5時間）					
第7週	事前	どのようなクラスだよりのあるかなど、クラスだよりに関して事前に調べておく。（0.5時間）					
	事後	クラスだよりの仕上げをする。（0.5時間）					
第8週	事前	ドキュメンテーションについて事前に調べておく。（0.5時間）					
	事後	ドキュメンテーションの仕上げをする。（0.5時間）					
第9週	事前	どのような言葉遊びがあるかを調べておく。（0.5時間）					
	事後	指導案に基づいた保育の流れをシミュレーションする。（1.0時間）					
第10週	事前	模擬保育の準備を行う。（1.0時間）					
	事後	反省を踏まえ、指導案の見直しを行う。（0.5時間）					
第11週	事前	模擬保育の準備を行う。（1.0時間）					
	事後	反省を踏まえ、指導案の見直しを行う。（0.5時間）					
第12週	事前	模擬保育の準備を行う。（1.0時間）					
	事後	反省を踏まえ、指導案の見直しを行う。（0.5時間）					
第13週	事前	模擬保育の準備を行う。（1.0時間）					
	事後	反省を踏まえ、指導案の見直しを行う。（0.5時間）					
第14週	事前	模擬保育の準備を行う。（1.0時間）					
	事後	反省を踏まえ、指導案の見直しを行う。（0.5時間）					
第15週	事前	これまでの授業内容を振り返り、疑問、質問を考える。（0.5時間）					
	事後	これまでの授業内容や配布資料を振り返り、理解を深める。（1.0時間）					

【授業計画コメント】

- ・グループワークや実践発表など積極的に参加すること。
- ・受講者の理解度によって授業内容を変更することがあります。
- ・遠隔授業の際、Pholly を用いることがあります。
- ・必要に応じて Pholly を通じて資料を提示します。

【テキスト、参考書・参考資料等】

テキストは特に使用せず、授業内に適宜資料を配布する。

	著者・編集者名	書名	出版社	発行年
参考書等	文部科学省	『幼稚園教育要領』	フレーベル館	2017年
参考書等	厚生労働省	『保育所保育指針』	フレーベル館	2017年
参考書等	内閣府	『幼保連携型認定こども園教育・保育要領』	フレーベル館	2017年

【成績評価の方法・基準】

評価種別	割合	基準
筆記試験		
期末レポート		
小テスト・授業内レポート	30%	講義内容を理解し、課題に対する適切な内容・記述になっているかについて評価する。
実践発表	70%	グループワーク、実践発表（ストーリーテリング、模擬保育）など。
合計	100%	

【課題（試験・レポート等）のフィードバック】

課題、実践発表については、授業内で全体にコメントする。

【オフィスアワー】

火曜日のお昼休み。場所は、田中研究室にて。

【その他】

特になし。

科目コード	科目名	授業形態	単位数	開講時期	卒業要件	免許・資格要件	担当教員名
S2309	子ども家庭福祉論	講義	2	2年次 後期	選択		杉山 宗尚・川島 直子
<p>【実務経験】 児童養護施設の現場職員としての経験を活かし、社会的児童養護施設の現場職員としての経験を活かし、社会的養護を含む子ども家庭福祉分野に関連する内容について、学生の理解を深められるように説明し、教授する。特に、学生による発表・討議の場では、学生にとって理解が難しい内容や疑問・質問に対する解説をわかりやすく行う。</p>							
<p>【授業の概要】 保育科での学びを基盤として、子ども家庭福祉に関する知識・理解を深める内容としている。その中でも、社会的養護を中心に切り上げ、現代社会における子どもや家庭を取り巻く環境をふまえ、家庭での生活が難しい子どもやその家庭への支援のあり方について、議論を深め、学びへとつなげられるようにしていく。また、テーマに基づく内容を調べ、発表し、それをもとに討議を行っていく授業を展開する。</p>							
<p>【キーワード】 社会的養護実践、子ども虐待防止、ひとり親家庭支援</p>							
【授業の到達目標（目的・ねらい）】							学位授与方針との関連
①子ども家庭福祉に関する諸施策の理解を深めることができる。							DP1
②子どもとその家庭を取り巻く様々な現状と課題について説明することができる。							DP4
③保育者としての福祉の視点を身に付け、それを活かした意見を述べて、討議に参加することができる。							DP3
【授業計画】							
回数	授業計画・内容・方法						
第1週	オリエンテーション、子ども家庭福祉の理解を深めるにあたって（杉山）						
第2週	子どもの貧困について①生活困窮と生活保護（川島）						
第3週	子どもの貧困について②貧困の現状＜対話・議論型授業＞（川島）						
第4週	ひとり親家庭の現状（川島）						
第5週	ひとり親家庭への支援＜対話・議論型授業＞（川島）						
第6週	社会的養護に関する発表と討議①児童養護施設、乳児院＜調査学習＞＜プレゼンテーション＞＜対話・議論型授業＞（杉山）						
第7週	社会的養護に関する発表と討議②児童自立支援施設、母子生活支援施設＜調査学習＞＜プレゼンテーション＞＜対話・議論型授業＞（杉山）						
第8週	社会的養護に関する発表と討議③児童心理治療施設、障害児入所施設＜調査学習＞＜プレゼンテーション＞＜対話・議論型授業＞（杉山）						
第9週	社会的養護に関する発表と討議④里親・ファミリーホーム、児童相談所、自立援助ホーム＜調査学習＞＜プレゼンテーション＞＜対話・議論型授業＞（杉山）						
第10週	社会的養護に関する発表と討議⑤自立援助ホーム、その他＜調査学習＞＜プレゼンテーション＞＜対話・議論型授業＞（杉山）						
第11週	子ども虐待①定義・現状・対応＜対話・議論型授業＞（杉山）						
第12週	子ども虐待②事例検討（杉山）						
第13週	子ども虐待③まとめ（杉山）						
第14週	母子保健＜対話・議論型授業＞（杉山）						
第15週	子ども家庭福祉の展望と全体の振り返り（杉山）						
回数	授業外における学修方法について（内容・時間）						
第1週	事前	シラバスを熟読し、保育科における福祉系科目の学びを振り返っておく。(120分)					
	事後	今回の授業内容を振り返る。(120分)					
第2週	事前	生活保護について各自で調べておく。(120分)					
	事後	プリント等を用いて、今回の授業内容を振り返る。(120分)					
第3週	事前	子どもの貧困について各自で調べておく。(120分)					
	事後	プリント等を用いて、今回の授業内容を振り返る。(120分)					
第4週	事前	ひとり親家庭について各自で調べておく。					
	事後	プリント等を用いて、今回の授業内容を振り返る。(120分)					
第5週	事前	前回の授業内容を振り返っておく。(120分)					
	事後	プリント等を用いて、今回の授業内容を振り返る。(120分)					
第6週	事前	発表担当者はパワーポイントの作成、それ以外の者は保育科の社会的養護Ⅰ、Ⅱの授業内容を振り返っておく。(120分)					
	事後	配布資料を用いて、今回の授業内容を振り返る。(120分)					
第7週	事前	発表担当者はパワーポイントの作成、それ以外の者は保育科の社会的養護Ⅰ、Ⅱの授業内容を振り返っておく。(120分)					
	事後	配布資料を用いて、今回の授業内容を振り返る。(120分)					
第8週	事前	発表担当者はパワーポイントの作成、それ以外の者は保育科の社会的養護Ⅰ、Ⅱの授業内容を振り返っておく。(120分)					
	事後	配布資料を用いて、今回の授業内容を振り返る。(120分)					
第9週	事前	発表担当者はパワーポイントの作成、それ以外の者は保育科の社会的養護Ⅰ、Ⅱの授業内容を振り返っておく。(120分)					
	事後	配布資料を用いて、今回の授業内容を振り返る。(120分)					
第10週	事前	発表担当者はパワーポイントの作成、それ以外の者は保育科の社会的養護Ⅰ、Ⅱの授業内容を振り返っておく。(120分)					
	事後	配布資料を用いて、今回の授業内容を振り返る。(120分)					
第11週	事前	子ども虐待について各自で調べておく。(120分)					
	事後	プリント等を用いて、今回の授業内容を振り返る。(120分)					
第12週	事前	前回の授業内容を振り返っておく。(120分)					
	事後	今回の授業内容を振り返る。(120分)					
第13週	事前	前々回と前回の授業内容を振り返っておく。(120分)					
	事後	今回の授業内容を振り返る。(120分)					
第14週	事前	母子保健について各自で調べておく。					
	事後	プリント等を用いて、今回の授業内容を振り返る。(120分)					
第15週	事前	これまでの授業を振り返っておく。(120分)					
	事後	プリント等を用いて、今回の授業を振り返る。(120分)					

【授業計画コメント】

- ・発表に伴うテーマや資料作成については、授業中に提示する。最終レポートにおいても授業内で、課題テーマや期日について提示する。
- ・授業計画については、受講生の人数や受講生の関心のある内容により変更となる可能性がある。
- ・状況によって授業担当者を変更することがある。
- ・Pholly でレポートの提出を求めることがある。

【テキスト、参考書・参考資料等】

テキスト テキストなし
 参考書・参考資料等 保育科で使用した福祉系科目のテキスト

【成績評価の方法・基準】

評価種別	割合	基準	
筆記試験			
期末レポート	50%	提出状況と課題テーマに対する的確に記述できているかを評価する。	
発表	40%	資料作成を含め、発表の仕方や内容について評価する。	
その他	討議への参加状況	10%	討議への参加意欲・態度（積極的発言や質問）を評価する。
合計	100%		

【課題（試験・レポート等）のフィードバック】

発表に対するフィードバックは授業内に行う。

【オフィスアワー】

火曜日のお昼休み。場所は、杉山研究室にて。

【その他】

受講生による発表をもとに討議を行ったり、授業内容をもとに討議を行ったりするため、積極的に参加してもらいたい。